

令和2年度 新栄地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

新栄地域ケアプラザのエリアは、連合町内会ごとに、「かちだ地区」「新栄早淵地区」「勝田茅ヶ崎地区」「茅ヶ崎南MGCRS地区」があり、それぞれに特徴があります。おおよそ、センター南駅を中心とした新しく開発された地域や、早淵の新興住宅エリアは、15歳未満の年少人口が高い水準を維持しています。一方、「かちだ地区」は65歳以上の割合が約60%であり、平均年齢が63.5歳となっています。一人暮らし高齢者が52%以上居住し、緊急性の高い相談などが多いことから、平成31年より市営勝田団地を対象とした、「LSA事業(生活支援)」による見守り事業を開始したり、買い物等ボランティア「おたがいさま会」を立ち上げ支援などし、「地域包括ケアシステム」の強化を目指しています。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域のサロンや集まりに出向き、都筑区版エンディングノート講座を開催します。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区医師会より派遣されたケアプラザ協力医とともに多職種連携の場(しんちゃんの手)を開催し、地域医療と介護の発展に努めます。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	引き続き仲町台駅徒歩圏内の子育て支援施設を対象に、子育てスタンプラリーを開催します。新設の保育園にも参加協力依頼します。他地区の主任児童委員からも開催希望の声をいただいております。開催の検討をしていきます。また、新栄早淵の公園あそび企画等、支援を継続します。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント